

衆議院経済産業委員会ニュース

平成 21.6.10 第 171 回国会第 16 号

6 月 10 日（水）第 16 回の委員会が開かれました。

- 1 エネルギー供給事業者による非化石エネルギー源の利用及び化石エネルギー原料の有効な利用の促進に関する法律案（内閣提出第 55 号）
石油代替エネルギーの開発及び導入の促進に関する法律等の一部を改正する法律案（内閣提出第 56 号）
- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。
（参考人）東京工業大学総合研究院教授 柏木孝夫君
電気事業連合会会長 森 詳 介君
財団法人日本消費者協会参与 長 見 萬里野君
 - ・二階経済産業大臣、吉川経済産業副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
 - ・櫻田義孝君外 4 名（自民、民主、公明）提出の に対する修正案について、提出者近藤洋介君（民主）から趣旨説明を聴取しました。
 - ・吉井英勝君（共産）提出の両案に対する修正案について、提出者吉井英勝君（共産）から趣旨説明を聴取しました。
 - ・両案及び櫻田義孝君外 4 名（自民、民主、公明）提出の に対する修正案に対し、吉井英勝君（共産）が討論を行いました。
 - ・吉井英勝君（共産）提出の両案に対する修正案について採決を行った結果、賛成少数をもって否決されました。
（賛成 - 共産 反対 自民、民主、公明）
 - ・櫻田義孝君外 4 名（自民、民主、公明）提出の に対する修正案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決されました。
（賛成 - 自民、民主、公明 反対 - 共産）
 - ・ に対する修正部分を除く原案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決され、本案は修正議決すべきものと決しました。
（賛成 - 自民、民主、公明 反対 - 共産）
 - ・ について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成 - 自民、民主、公明 反対 - 共産）
 - ・中野正志君外 2 名（自民、民主、公明）から提出された に対する附帯決議案について、近藤洋介君（民主）から趣旨説明を聴取しました。
 - ・採決を行った結果、賛成多数をもってこれを付することに決しました。
（賛成 自民、民主、公明 反対 - 共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

（参考人に対する質疑）

木 挽 司君（自民）

- ・太陽光発電システムの普及を促進するには他の新エネルギーとの競合による市場メカニズムが重要だと考えるが、参考人の見解を聞きたい。
- ・環境ビジネスに関する実態が国民に正確に伝わっていないと考えるが、どのような方法により伝えることが有効であるか。

赤 羽 一 嘉君（公明）

- ・近年、原子力発電所の稼働率が低下しているが、今後

の原子力発電に関し、どのように取り組んでいくのか。

- ・エネルギー政策は長期的な観点から推進していくべきだと考えるが、政府の新エネルギー政策に対する評価を聞きたい。

近 藤 洋 介君（民主）

- ・固定価格買取制度は結果として電気料金が値上げされることとなるが、これは十数年来政府が行ってきた料金引き下げ施策の転換ではないか。また、国民全体に負担を求めるならば法律に明記するべきではないか。

吉井英勝君（共産）

- ・固定買取価格制度の導入は、電力料金の引き上げにつながるものと考えられる。消費者の立場として、電力料金の引上げに関してどのように考えているのか。
- ・再生可能エネルギーは出力変動が問題となるが、これを系統に連携するための系統安定化技術の開発はどのようなのか。また、この点について電力会社はどのように受け止めているのか。

（政府に対する質疑）

佐藤ゆかり君（自民）

- ・太陽光発電設備の導入が進むことによって、設備価格が逡減していくものと考えられる。そのため、設備の導入時期によって買取価格や国庫補助を調整しなければ、導入する者の公平性の担保ができないのではないか。
- ・公共投資によって設置された太陽光発電設備による余剰電力の買取価格については、国民負担の軽減につながるよう、電力価格の引上げを抑制するため、引き下げる必要があるのではないか。

三谷光男君（民主）

- ・ゼロ・エミッション電源の導入目標に関し、その範囲に原子力が含まれることを勘案すると、新エネルギーによって達成される分は少ないものと考えられる。導入目標は国民経済という観点を踏まえたものとしても、新エネルギーの目標値が低すぎないか。
- ・ベストミックスのベースとなる発想があって初めて、電源ごとの導入目標が決められるものと考えられる。地球温暖化対策及びエネルギー安全保障を踏まえた上での二階経済産業大臣の考えるベストミックスとは、どのようなものなのか。

大島敦君（民主）

- ・二酸化炭素排出量削減の観点から、原子力発電所の果たす役割は重要であると考え、二階経済産業大臣の見解を聞きたい。
- ・燃料電池は、天然ガスなどの化石燃料を有効に利用し、熱と電気の双方の供給を行うことができ、エネルギー供給の高度化の観点からみても導入促進を図ることが重要と考えられるが、二階経済産業大臣の見解を聞きたい。

後藤 斎君（民主）

- ・二酸化炭素吸収源として農地政策を推進するため、十分な予算を確保するとともに経済産業省・農林水産省・環境省の連携を強めるべきではないか。
- ・再生可能エネルギーの中で、小水力発電の利用拡大を積極的に図るべきではないか。

吉井英勝君（共産）

- ・固定価格買取制度において、買取費用の法的位置づけはどうなっているか。また、費用負担について、法律に明記すべきではないか。
- ・原子力発電と太陽光発電につき、設置費用及び稼働費用を含めたコスト比較を行う必要があるのではないか。

- 2 商品取引所法及び商品投資に係る事業の規制に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第46号）
- ・二階経済産業大臣から提案理由の説明を聴取しました。